

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	CT 検査における心電図同期撮影の画像再構成法の違いが Adamkiewicz 動脈の描出能に与える影響			
② 実施予定期間	実施許可後 から 2029 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院の CT 装置で心電図同期 CT 検査を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2023 年 4 月 1 日 から 研究の実施許可日 追跡期間：2029 年 12 月 31 日まで			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第一外科			
⑦ 研究責任者	氏名	竹光政樹	所属	放射線部
⑧ 使用する情報等	年齢、性別、身長、体重、原疾患、合併症、既往歴、現病歴、前治療、CT 画像データ、CT画像の再構成法、放射線検査の被ばく線量情報、使用造影剤の種類、使用造影剤の投与量、手術の記録、予後			
⑨ 研究の概要	大動脈疾患の術前検査では、Adamkiewicz動脈という細い血管の評価が重要となります。近年の術前CT検査では心電図同期撮影法を用いた検査を行っていますが、心電図同期撮影法で撮影されたCT画像は再構成条件によってCT画像の画質が変化します。心電図同期撮影において、従来は1心拍(およそ1000ms)ごとに250msのデータを用いて画像再構成を行っていましたが、AKA評価の場合は心拍動の影響を受けにくいと考えられるため2023年4月より心電図同期撮影の全位相(およそ1000ms)のデータを使用して画像再構成を行う心電図仮想非同期再構成法を用いて追加の画像再構成を行っています。本研究では心電図同期CT撮影をおこなった検査において従来法で再構成された画像と心電図仮想非同期再構成法で再構成された画像の違いがAdamkiewicz動脈の評価に与える影響を調査します。			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024 年 6 月 4 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線部運営費			

⑩ 利益相反	ありません		
⑪ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線部 担当者：竹光政樹		
	電話	0836-22-2627	FAX 0836-22-2635